

障害ってなんだろう？

～心のバリアフリーを推進しよう～

一般に「障害者」とは、「身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を持っている人」を指すことが多いのですが、実は、日常生活を営む中には、様々な「障害」があり、誰もが“生きにくさ”や“暮らしにくさ”を感じることもあると思います。

また、誰にでも、「できないこと」や「苦手なこと」があります。

「障害」は、その人を取り巻く社会のあり方や人々の態度によって、重くも軽くもなるものなのではないでしょうか。

お互いが支え合い、ともに生きていくことのできる地域社会を目指して、お互いを理解することから始めましょう。

障害のある方は、日常生活やさまざまな活動の中で、周囲の理解や配慮があれば、できることが多くあります。

ここでは、障害の特性について簡単にご説明します。

視覚障害

視覚障害のある方の中には、全く見えない方と見えづらい方とがいます。見えづらい方の中には、細部がよく分からない、光がまぶしい、暗いところで見えにくい、見える範囲が狭い（視野の一部が欠けたり望遠鏡でのぞいているような見え方）などの方がいます。また、特定の色が分かりにくい方もいます。

～主な特徴～

- ・一人で移動することが困難
慣れていない場所では、一人で移動することは困難です。
- ・音声を中心に情報を得ている
目からの情報が得にくいいため、音声や手で触ることなどにより、情報を入手しています。
- ・文字の読み書きが困難
文章を読むことや書類に文字を記入することが難しい方が多いです。



音声機能障害

音声機能障害とは、疾病等により喉頭を摘出し、音声機能を喪失した方です。

聴覚・言語障害

聴覚障害のある方の中には、全く聞こえない方と聞こえにくい方がいます。さらに、言語障害を伴う方とほとんど伴わない方がいます。また、言語障害のある方は、その原因によって、聴覚障害を伴う場合があります。

～主な特徴～

- ・外見から分かりにくい
外見からは聞こえないことが分かりにくいいため、声をかけたのに気づかない場合があります。
- ・視覚を中心に情報を得ている
音や声による情報が得にくく、文字や図などの視覚により情報を入手しています。
- ・声に出して話せても聞こえているとは限らない
聴覚障害のある方の中には、声に出して話せる方もいますが、相手の話は聞こえていません。
- ・補聴器をつけても会話が通ずるとは限らない
補聴器を付けている方もいますが、補聴器で音を大きくしても、明りように聞こえているとは限らず相手の口の形を読み取るなど、視覚からの情報が主になります。



視覚と聴覚の重複(盲ろう)障害

視覚と聴覚の両方に障害のある方の中には、全く見えなくて(全盲)全く聞こえない方、全盲ではないが視覚障害があり全く聞こえない方、全く見えず補聴器によって少し聞こえる方、全盲ではないが視覚障害があり補聴器によって少し聞こえる方とがいます。

～主な特徴～

- ・前記述の視覚及び聴覚・言語障害のある方の特徴が重複しています。
- ・特にコミュニケーションの方法は障害の程度によって様々ですが、一般的に大きく分けて①触手話・接近手話、②点字、③手のひら書き、④音声、⑤筆談、⑥指文字、⑦その他、に分類されます。盲ろうの方は、これらの中から一つ、あるいは複数の方法を組み合わせて会話をしています。

肢体不自由

肢体不自由のある方の中には、上肢や下肢に機能障害のある方、座ったり立ったりする姿勢保持が困難な方などがいます。これらの方の中には、書類の記入などの細かい作業が困難な方、立ったり歩行したりすることが困難な方、身体にマヒのある方、自分の意思と関係なく身体が動く不随意運動を伴う方などがいます。移動については、杖や松葉杖を使用される方、義足を使用される方、自力走行や電動の車椅子を使用される方などがいます。また、病気や事故で脳が損傷を受けた方の中には、身体のマヒや機能障害に加えて、言葉の不自由さや記憶力の低下、感情の不安定さなどを伴う方もいます。

～主な特徴～

- ・移動に制約のある方もいる
下肢に障害のある方では、段差や階段、手動ドアなどがあると、一人では進めない方がいます。歩行が不安定で転倒しやすい方もいます。車椅子を使用されている方では、高い所には手が届きにくく、床のモノは拾いにくいです。
- ・文字の記入が困難な方もいる
手にマヒのある方、不随意運動を伴う方などでは、文字を記入できなかつたり、狭いスペースに記入することが困難です。
- ・体温調整が困難な方もいる
脊髄を損傷された方では、手足の動かないだけでなく、感覚もなくなり、周囲の温度に応じた体温調整が困難です。
- ・話すことが困難な方もいる
発語の障害に加え、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまうため、自分の意思を伝えるににくい方もいます。



内部障害

内部障害とは、内蔵機能の障害であり、身体障害者福祉法では心臓機能、呼吸器機能、腎臓機能、ぼうこう・直腸機能、小腸機能、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能の8種類の機能障害が定められています。

○心臓機能障害は…

不整脈、狭心症、心筋症等のために心臓機能が低下した障害で、ペースメーカー等を使用している方もいます。

○呼吸器機能障害は…

呼吸器系の発病により呼吸機能が低下した障害で、酸素ポンペを携帯したり、人工呼吸器(ベンチレーター)を使用している方もいます。



- 腎臓機能障害は…
腎機能が低下した障害で、定期的な人工透析に通院されている方もいます。
- ぼうこう・直腸機能障害は…
ぼうこう疾患や腸管の通過障害で、腹壁に新たな排泄口（ストマ）を造設している方もいます。
- 小腸機能障害は…
小腸の機能が損なわれた障害で、食事を通じた栄養維持が困難なため、定期的に静脈から輸液の補給を受けている方もいます。
- ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障害は…
HIVによって免疫機能が低下した障害で、抗ウイルス剤を服薬している方です。

～主な特徴～

- ・外見から分かりにくい
外見からは分からないため、電車やバスの優先席に座っていても周囲の理解が得られないなど、心理的なストレスを受けやすい状態にあります。
- ・疲れやすい
障害のある臓器だけでなく、全身状態が低下しているため、体力がなく、疲れやすい状況にあり、重い荷物を持ったり、長時間立っているなどの全体的負担を伴う行動が制限される方もいます。
- ・携帯電話の影響が懸念される方もいます。
心臓機能障害で心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方では、携帯電話から発せられる電磁波等の影響を受けると誤動作するおそれがあるので、配慮が必要です。
- ・タバコの煙が苦しい方もいる
呼吸器機能障害のある方では、タバコの煙などが苦しい方もいます。
- ・トイレに不自由されている方もいる
ぼうこう・直腸機能障害で人工肛門や、人工ぼうこうを使用されている方（オストメイト）は、排泄物を処理できるオストメイト用のトイレが必要です。

知 的 障 害

知的障害のある方は、脳に何らかの障害が生じたため、社会生活への適応のしにくさのある方です。常に同伴者を必要とされる方もいますが、一人一人異なります。
一口に知的障害といっても、様々な方がいます。
また、知的障害と同時に、視力や聴力、言葉や運動機能などの障害もある方たちもいます。

～主な特徴～

- ・複雑な話や抽象的な概念は理解しにくい方もいます
- ・人にたずねたり、自分の意見を言うのが苦手な方もいます
- ・漢字の読み書きや計算が苦手な方もいます
- ・ひとつの行動に執着したり、同じ質問を繰り返す方もいます
- ・先のことを予測したり、欲求をコントロールすることが難しい方もいます
- ・物事に対して、継続して取り組めないなど、集中力が続かない方もいます



発 達 障 害

発達障害は、自閉症、アスペルガー症候群等の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）等、脳機能の障害であって、通常低年齢において症状が発現するものです。自閉症には知的障害を伴う場合と伴わない場合（高機能自閉症）とがあります。

～主な特徴～

- 自閉症・アスペルガー症候群・高機能自閉症は…
 - ・相手とのやりとりが苦手だったり、相手の考えていることや感情が読み取りにくいことがあります。
 - ・こだわり行動（興味が偏ったり、決まりきったパターンに固執すること）があります。
 - ・自閉症には、言葉の発達が遅れる、オウム返し、会話が一方的で自分が関心のある事だけ話すなどの、コミュニケーション面での障害があります。
 - ・アスペルガー症候群・高機能自閉症には、言葉の発達に遅れはありませんが、言葉の理解の仕方が独特であったりします。
- 学習障害（LD）は…
 - ・全般的な知的発達に遅れはありませんが、
 - ・学力の著しい偏り（読み・書き・計算などの一部だけができない）があります。
 - ・注意集中力や落ち着きがない場合もあります。
- 注意欠陥多動性障害（AD/HD）は…
 - ・注意集中が難しかったり、多動で落ち着きがなかったり、衝動的で思いついたらすぐ行動に移してしまうことがあります。



精神障害

精神障害のある方は、統合失調症、そううつ病、うつ病、てんかん、アルコール中毒等のさまざまな精神疾患により、日常生活や社会生活のしずらさを抱えている方です。適切な治療・服薬と周囲の配慮があれば症状をコントロールできるため、大半の方は地域で安定した生活を送ることができます。

○統合失調症は…

幻覚、妄想、思考障害、感情や意欲の障害など、多様な精神症状を特徴とし、現実を認識する能力が妨げられ、判断ができにくく、対人関係が難しくなるなど、さまざまな生活障害を引き起こしますが、薬によってこれらの症状をおさえることもできます。おおよそ130人に1人がかかる可能性があります。

○うつ病は…

気分がひどく落ち込んだり、何事にも興味を持てなくなったりして、日常生活に支障が現れます。国内の調査によると、うつ病はおおよそ5人に1人がかかる可能性があると言われています。

～主な特徴～

- ・ストレスに弱く、疲れやすく、不眠などを伴い対人関係やコミュニケーションが苦手な方が多い
- ・障害について理解されず、病気のことを他人に知られたくないと思っている方や孤立している方もいます
- ・周囲の言動を被害的に受け止め、恐怖感を持ってしまう方もいます
- ・思春期の発病や長期入院のために、社会生活に慣れていない方もいます。



☆ここに記載されていない障害もあります。

☆障害に関する相談等は、各市町村の障害福祉担当課へ☆

【関係団体連絡先】

〈身体障害者関係〉

- ・公益財団法人神奈川県身体障害者連合会 (TEL045-311-8736 FAX045-316-6860)
- ・NPO神奈川県視覚障害者福祉協会 (TEL046-205-6040 FAX046-205-6040)
- ・社団法人神奈川県聴覚障害者協会 (TEL0466-27-9124 FAX0466-26-5454)
- ・全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部 (TEL045-922-6324 FAX045-922-6402)
- ・神奈川銀鈴会 (TEL045-311-8736 FAX045-316-6860)
- ・社団法人日本オストミー協会神奈川支部 (TEL0466-45-4216 FAX0466-61-0070)
- ・神奈川盲ろう者ゆりの会 (TEL045-312-6313 FAX045-312-6313)

〈知的障害者関係〉

- ・神奈川県手をつなぐ育成会 (TEL045-311-8752 FAX045-324-0426)
- ・神奈川県知的障害者施設団体連合会 (TEL045-311-8752 FAX045-324-0426)
- ・神奈川県障害者地域作業所連絡協議会 (TEL045-311-8752 FAX045-324-0426)

〈精神障害者関係〉

- ・神奈川県精神障害者家族会連合会 (TEL045-821-8796 FAX045-821-8469)
- ・神奈川県精神障害者連絡協議会 (TEL045-826-5562 FAX045-826-5562)
- ・NPO神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会 (TEL045-821-6694 FAX045-821-6894)

神奈川県障害者社会参加推進センター事務局

〒221-0825

横浜市神奈川区反町3丁目17番地2 県社会福祉センター 5階

公益財団法人神奈川県身体障害者連合会内

TEL 045-311-8736

FAX 045-316-6860

ホームページ <http://kanagawa-kenshinren.or.jp>